

「曾木小学校の浅山流棒踊り」伝承活動の取組

1 学校名

伊佐市立曾木小学校

2 学年・人数

小学1～6年生 希望者（計28人）

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

7月下旬から毎週月曜日（曾木小学校 体育館）

（2）発表の日時・場所

平成24年9月30日（日）小学校運動会（曾木小学校 校庭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事や史跡について

（1）名称

浅山流棒踊り（あさやまりゅう ぼうおどり） 別名：川西棒踊り

（2）由来

由来の詳細は不明だが，同じ伊佐市大口で伝承されている「堂山棒踊り」が校区内の川西地区に伝来し，さらに地域に伝承されていた「朝山棒術」の様式も組み合わせり，浅山流棒踊りが成立したと伝えられている。（『大口市郷土誌 上巻』より）

（3）構成等

基本形は4人組で12通りの基本型がある。棒使いの型も12通りある。装束はタスキをかける。（『大口市郷土誌 上巻』より）

5 保存会や地域との連携の具体

曾木小学校では，平成21年度から，地域に伝わる「浅山流棒踊り」についての学習を取り入れている。初年度は，3・4年生を対象に19人が「郷土の伝統について調べよう」をテーマにした総合的な学習の時間において，9月から校区の浅山流棒踊り保存会の方々に指導を受け，11月1日の学習発表会で披露した。以後，保存会の方々と連携し伝承・学習活動を継続している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

これまで3・4年生を対象に伝承・学習活動に取り組んできたが，今年度（平成24年度）からは，全学年に枠を広げて希望者を募り，放課後等を利用して実施している。全児童51人中28人が，浅山流棒踊り保存会の指導のもと，7月下旬から毎週月曜日の夕方に練習を行い，9月30日の秋季大運動会において発表した。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



練習風景



運動会での発表の様子

8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- (1) 最初は「できるかなあ」と心配でしたが，保存会の方々が分かりやすく教えてくださったので，楽しく練習できました。（児童）
- (2) 昔から伝承されている地域の踊りを我が子が踊る姿を見て，大変感動しました。
（保護者）
- (3) 子どもたちは踊りを覚えるのがとても速く，びっくりしました。また，学校外で子どもたちに出会った際も元気に挨拶してくれます。（保存会）